

R. I. District2610, ROTARY CLUB OB UOZU

魚津ロータリークラブ会報誌

2011-2012年度 RI会長 カルヤン・バネルジー
2011-2012年度 魚津RC会長 寺崎 明博



2012-3-13

第2816回 国際ロータリー第2610地区富山第一分区IM例会報告

- (1) 黙祷
- (2) 国歌 「君が代」 斉唱
- (3) ロータリーソング 「奉仕の理想」
- (4) 特別ゲスト紹介
 - ・国際ロータリー2610地区 ガバナー 炭谷 亮一様
 - ・国際ロータリー2610地区 パストガバナー 近藤 俊行様
 - ・記念講師 2006-2007年度 ロータリー財団国際親善奨学生 柴田 恭子様
- (5) 国際ロータリー2610地区 炭谷 亮一ガバナーより挨拶



皆さん、こんばんは！ラオスの教育センターが9月11日落成式をしました。今日はロータリー財団国際親善奨学生の柴田恭子さんのお話を楽しみにしています。富山第一分区のご発展を祈念致しております。

- (6) 出席者紹介 (別紙)
- (7) ガバナー補佐の挨拶 吉田 築夫様



皆さん、こんばんは！IM 8クラブ合同例会に参加頂きありがとうございます。残り3カ月になりました。これも8クラブロータリーの友情のお陰です。今日はサプライズで炭谷ガバナーには金沢からわざわざ出席して頂き厚くお礼申し上げます。また柴田さんよろしくお願いたします。ロータリーもいろいろと問題を抱えながら各地で一生懸命奉仕活動をしています。また奨学生の派遣活動など他の会で出来ない事業をしています。自慢出来ると思います。力合わせて頑張っていきたいと思えます。今日は楽しくご歓談をして頂きたいと思えます。8クラブのますますのご発展とご出席の皆さんのご健勝を心からお祈り申し上げまして開会の挨拶とします。

- (8) 幹事報告・委員会報告はなし。

- (9) ニコニコボックスの報告 鈴木 潮魚津西ロータリー委員より
- ・国際ロータリー2610地区ガバナー 炭谷 亮一様より

- (10) 閉会点鐘 吉田 築夫ガバナー補佐



(11) 記念講演

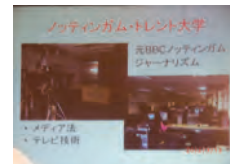
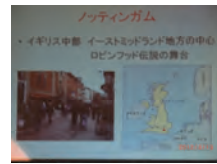
演題 「イギリス留学で得たもの」

講師 2006-07年度ロータリー財団国際親善奨学生 柴田 恭子様

今日はお呼び頂きありがとうございました。2006-07年留学いたしました。私は生まれも育ちも高岡です。チューリップテレビの報道部の記者です。入社5年目、奨学生のことを新聞記事で見ました。私の夢であった警察担当の記者になりました。しかし生活経験が無かったのでその勉強をしたかった。奨学生の数は2610地区では額によって決まります。
・私の年は8人でした。奨学生の第一の任務は国際親善です。派遣先のロータリーで10回程度のスピーチをすることもあります。行き先は希望を出して財団本部が決めます。私はノッティンガム・トレット大学に入りました。



大学院は1年です。私は1年間会社を休んで行きました。イギリスにはメディア法があります。厳しいものです。イギリスと日本との大きな違いは、イラクやアフガニスタンの戦争や宗教のニュースが多く、宗教が大きな問題です。



服装については日本では地味ですが英国ではカラフルです。1年間で日本のニュースはほとんどありませんでした。静岡のイルカ漁や鯨漁について報道されました。

- ・イギリスのロータリークラブについては、ホストクラブには女性会員が7人いました。ディナークラブで酒が大好きで、一杯飲んでから例会になります。寄付活動が活発です。
- ・よかったことは、現地のロータリアンと仲良くなったことです。



一緒にハイキングに行ったり、クリスマスに招待されました。私は日本料理、中でもお好み焼きでお礼をしました。人生の中で一番印象深い体験でした。皆さんありがとうございました。

(12) 最後に懇親会が開催され、和やかに、楽しい出逢いが沢山ありました。